

第 39 課 準備のための聖書日課

12月19日（月）フィリピ2：1－11 人間の姿で現れたキリスト

1そこで、あなたがたに幾らかでも、キリストによる励まし、愛の慰め、“霊”による交わり、それに慈しみや憐れみの心があるなら、2同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、わたしの喜びを満たしてください。3何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、4めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。5互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。6キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、7かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、8へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。9このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。10こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、11すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。

キリストは神の身分でありながら、人間の姿で現れ、自分を無にして、僕の身分になり、へりくだって、十字架の死にいたるまで従順でした。それは、私たちをお救いになるためでした。

「主よ!」 すべてのものが、イエスさまの御名にひざまずきます。

12月20日（火）ルカ9：57－62 人の子が枕する所

57一行が道を進んで行くと、イエスに対して、「あなたがおいでになる所なら、どこへでも従って参ります」と言う人がいた。58イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。だが、人の子には枕する所もない。」59そして別の人に、「わたしに従いなさい」と言われたが、その人は、「主よ、まず、父を葬りに行かせてください」と言った。60イエスは言われた。「死んでいる者たちに、自分たちの死者を葬らせなさい。あなたは行って、神の国を言い広めなさい。」61また、別の人も言った。「主よ、あなたに従います。しかし、まず家族にいとまごいに行かせてください。」62イエスはその人に、「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」と言われた。

「あなたに従います。ですから、ちょっとお待ちください」 従いますの言葉が、あまりにも軽いのです。これは……、私のことかも。

12月21日（水）ルカ13：22－30 神の国の宴会

22イエスは町や村を巡って教えながら、エルサレムへ向かって進んでおられた。23すると、「主よ、救われる者は少ないのでしょうか」と言う人がいた。イエスは一同に言われた。24「狭い戸口から入るように努めなさい。言っておくが、入ろうとしても入れない人が多いのだ。25家の主人が

立ち上がって、戸を閉めてしまってからでは、あなたがたが外に立って戸をたたき、『御主人様、開けてください』と言っても、『お前たちがどこの者か知らない』という答えが返ってくるだけである。26 そのとき、あなたがたは、『御一緒に食べたり飲んだりしましたし、また、わたしたちの広場でお教えを受けたのです』と言いだすだろう。27 しかし主人は、『お前たちがどこの者か知らない。不義を行う者ども、皆わたしから立ち去れ』と言うだろう。28 あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブやすべての預言者たちが神の国に入っているのに、自分は外に投げ出されることになり、そこで泣きわめいて歯ざしりする。29 そして人々は、東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。30 そこでは、後の人で先になる者があり、先の人で後になる者もある。」

いろいろな人がいます。金儲けの事ばかり考えている人がいます。名誉や地位にのけぞる人がいます。儀式や形式などかたちにこだわる人がいます。
後から来て、主を信じ、ひたむきに祈る人がいます。その人は先になります。

12月22日(木) 使徒26：12－18 天からの光の中で

12 「こうして、私は祭司長たちから権限を委任されて、ダマスコへ向かったのですが、13 その途中、真昼のことです。王よ、私は天からの光を見たのです。それは太陽より明るく輝いて、私とまた同行していた者との周りを照らしました。14 私たちが皆地に倒れたとき、『サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか。とげの付いた棒をけると、ひどい目に遭う』と、私にヘブライ語で語りかける声を聞きました。15 私が、『主よ、あなたはどなたですか』と申しますと、主は言われました。『わたしは、あなたが迫害しているイエスである。16 起き上がれ。自分の足で立て。わたしがあなたに現れたのは、あなたがわたしを見たこと、そして、これからわたしが示そうとすることについて、あなたを奉仕者、また証人にするためである。17 わたしは、あなたをこの民と異邦人の中から救い出し、彼らのもとに遣わす。18 それは、彼らの目を開いて、闇から光に、サタンの支配から神に立ち帰らせ、こうして彼らがわたしへの信仰によって、罪の赦しを得、聖なる者とされた人々と共に恵みの分け前にあずかるようになるためである。』」

神さまは、ヨセフとマリアの子を救世主としてお選びになりました。ヨセフとマリアにとって、それはおどろきです。二人は信じあい、いたわりあって、主イエスさまが誕生します。
神さまは、「主への信仰によって、神に立ち返らせる」伝道者として、迫害をしているサウルをお選びになりました。サウルにとっても、それはおどろきです。しかし、サウル（後のパウロ）の働きは、使徒言行録、数々の手紙にあるように、本当に神の目になった伝道者です。

12月23日(金) イザヤ11：1－10 エッサイの根を求めて集う

1 エッサイの株からひとつの芽が萌えいで

その根からひとつの若枝が育ち

2 その上に主の霊がとどまる。

知恵と識別の霊

思慮と勇気の霊

主を知り、畏れ敬う霊。

3 彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。

目に見えるところによって裁きを行わず

耳にするところによって弁護することはない。

4 弱い人のために正当な裁きを行い

この地の貧しい人を公平に弁護する。

その口の鞭をもって地を打ち

唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。

5 正義をその腰の帯とし

真実をその身に帯びる。

6 狼は小羊と共に宿り

豹は子山羊と共に伏す。

子牛は若獅子と共に育ち

小さい子供がそれらを導く。

7 牛も熊も共に草をはみ

その子らは共に伏し

獅子も牛もひとしく干し草を食らう。

8 乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ

幼子は蝮の巣に手を入れる。

9 わたしの聖なる山においては

何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。

水が海を覆っているように

大地は主を知る知識で満たされる。

10 その日が来れば

エッサイの根は

すべての民の旗印として立てられ

国々はそれを求めて集う。

そのとどまるところは栄光に輝く。

エッサイとはダビデ王の父です。これはダビデ王の事を言っているようです。しかし、エッサイとダビデ王の子孫にイエス・キリストが誕生しています。イエス・キリストの預言を表しているとも言われています。

12月24日(土) ミカ5：1－3 ベツレヘムよ

1 エフラタのベツレヘムよ

お前はユダの氏族の中でいと小さき者。

お前の中から、わたしのために

イスラエルを治める者が出る。

彼の出生は古く、永遠の昔にさかのぼる。

2 まことに、主は彼らを捨ておかれる

産婦が子を産むときまで。

そのとき、彼の兄弟の残りの者は

イスラエルの子らのもとに帰って来る。

3 彼は立って、群れを養う

主の力、神である主の御名の威厳をもって。

彼らは安らかに住まう。

今や、彼は大いなる者となり

その力が地の果てに及ぶからだ。

ダビデ王の出生地はベツレヘムです。イエスさまもベツレヘムでお生まれになりました。どちらにもあてはまります。私たちはやはり、イエスさまを思いましょう。

「今や、彼は大いなる者となり、その力は地の果てに及ぶ」 主を賛美いたします。

12月25日(日) ルカ2：1－20 イエスの誕生

1 そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。2 これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。3 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。4 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。5 身ごもっていた、いいなずけの MARIA と一緒に登録するためである。6 ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、MARIA は月が満ちて、7 初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

8 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。9 すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

14 「いと高きところには栄光、神にあれ、

地には平和、御心に適う人にあれ。」

15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話を不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである」

2000 年の時を超えた今も、私の心の中に共にいてくださるイエスさま。私を見守り、導いてくださいます。感謝いたします。

主イエス・キリストのご降誕を心よりお祝い申し上げます。

(担当 : K.O.)

